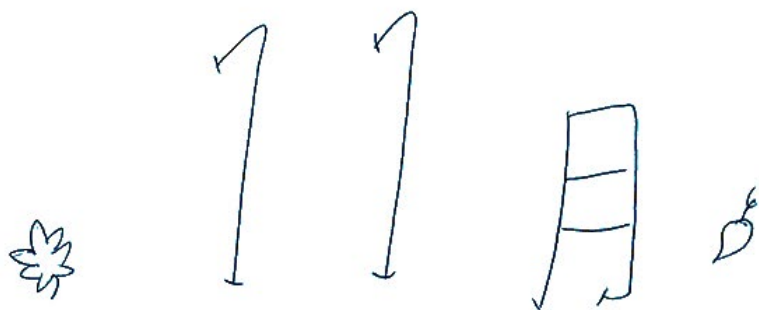
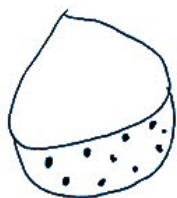


とよ・たち美肌通信  
11月号 vol.160





今月号の とまてち 美肌通信の表紙は  
鉄棒、自転車、スイングや体操が  
得意な女の子が描いてくれました！  
運動が大好きなのでねっ  
りと仲間たちが楽しそうにしている絵です。  
ありがとうございます。



院長はじめ スタッフ一同、  
心より感謝いたします。

私が尊敬している複数の方々の中に一人に教示  
頂いた言葉があります。

「自分の知らないことを知っていて、それを教えて  
下さる人は全て自分の先生です」と。

これは私の通弊へ戒める言葉として、今後も  
人生の一つの要訣に他ならないものである。

別の先哲の遺訓を紹介する。

「師に遇<sup>き</sup>うも覚<sup>き</sup>らず 師に覚<sup>き</sup>るも勤<sup>め</sup>めず  
勤<sup>め</sup>むるも道<sup>を</sup>守<sup>ら</sup>ず 或<sup>は</sup>志<sup>を</sup>固<sup>ま</sup>らず  
固<sup>ま</sup>るも久<sup>く</sup>しうする能<sup>あ</sup>へず」

意味は、師に会ってもその価値に気がかかず  
学ばない。学んでも実行しない。実行しても  
いい加減。あるいは心が定まらない。志が  
定まっても長く持続できない。

人生には必ず「節目」がある。その節目がどこにあ  
るのか、いつなのかを分かる人間でありたいと  
思う。人生を歩む中で「パイの原石」がそこに  
落ちていても知らずに「通り過ぎ」ていく様

な人生の歩み方はしたくない。ここで言う  
ダイヤの原石とは金銀等の金目を指すので  
はなく、人生の師であるとか、そこから発せられ  
る金言を指すことは言うに及ばない。

そこから受けるインスピレーションに訴えてくる様な  
心動かされる様な事象を指す。そこから進  
むべき方向性を見出し一生をかける仕事に  
一意専心する。

現在の仕事を自分の生涯の仕事として天命  
と心得打ち込むこと。それを信念にまで  
高めることが修養、自己の確立となるであろ  
うと思う。人はこのことに出来るだけ早くから  
気付き自らを修めることが肝要。人生は心  
かけと努力次第であると思う 院長、拝